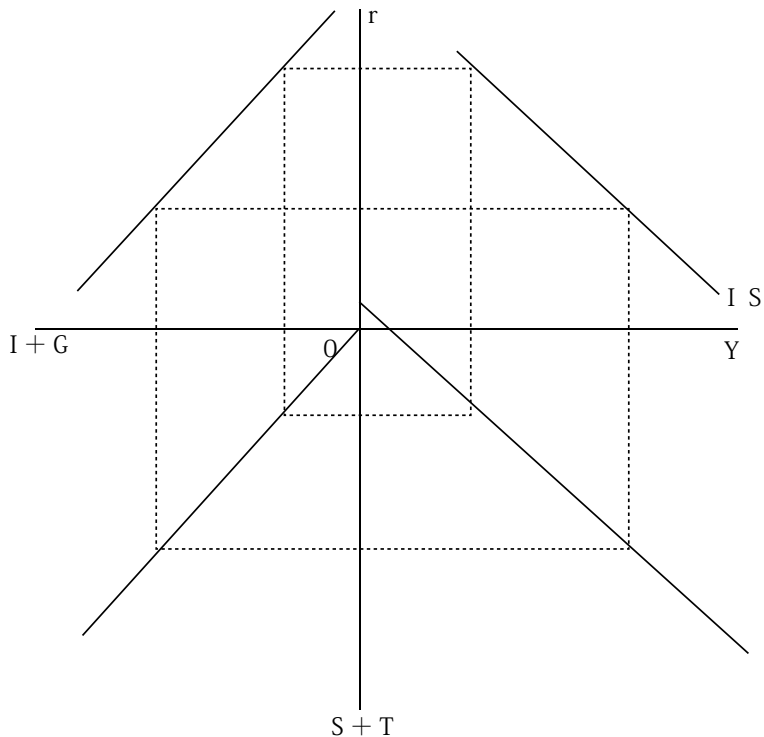


## 考え方のプロセス **IS曲線の右シフトの考え方**

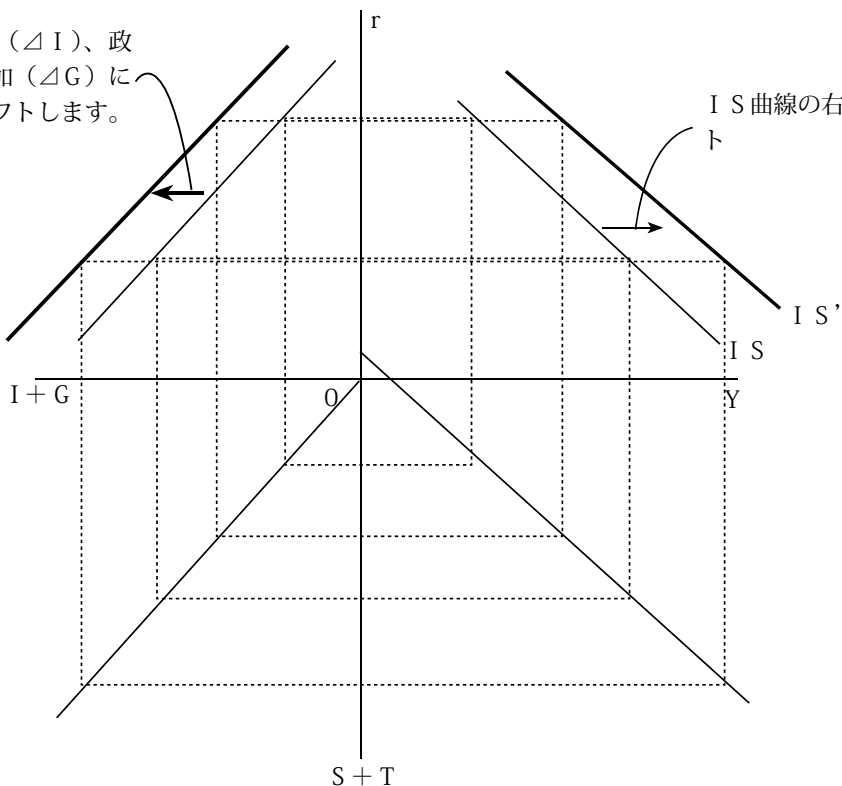
財市場の均衡を表すIS曲線は、第2象限（需要サイド）または第4象限（供給サイド）が変化をするとシフトします。

**プロセス-1** 簡便4象限法でIS曲線を導出します。



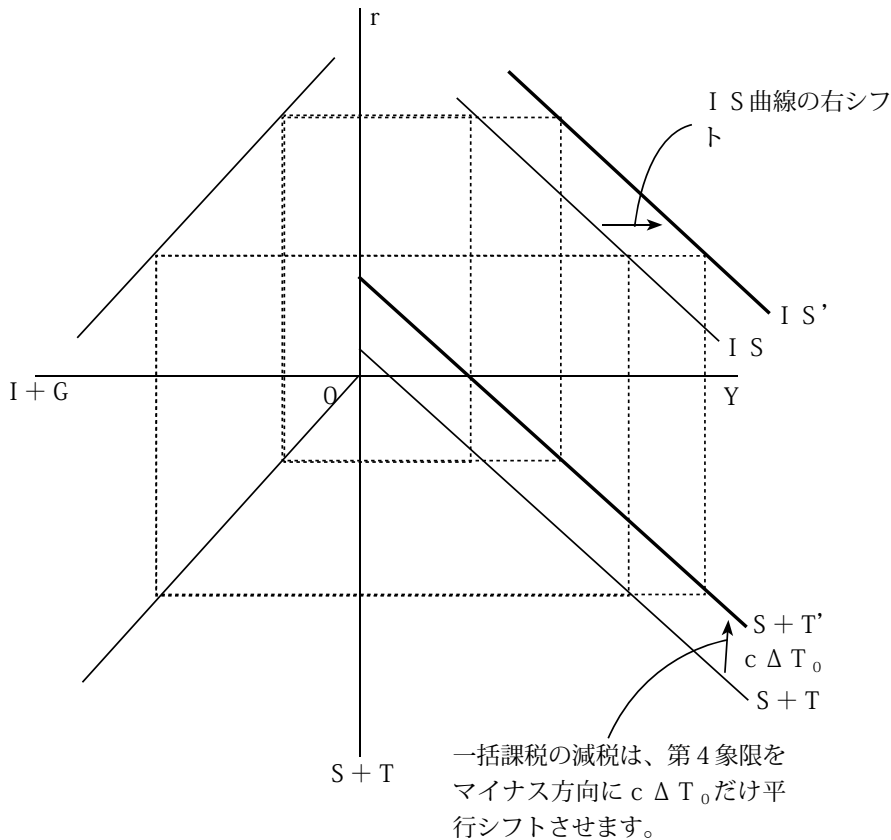
**プロセス-2** IS曲線の右シフトで代表的なものは投資や政府支出などの有効需要が増加したケースです。

投資の増加 ( $\Delta I$ )、政府支出の増加 ( $\Delta G$ ) によって右シフトします。



プロセス-2

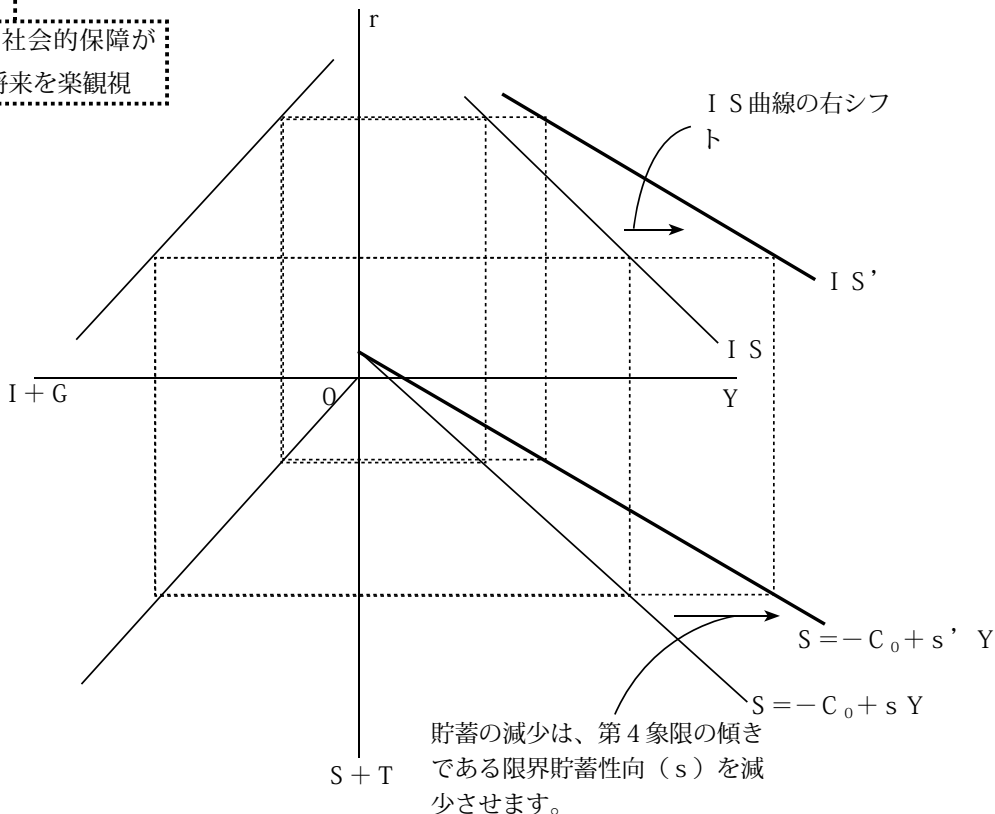
一括課税が減税された場合も I S 曲線は右シフトします。



プロセス-3

貯蓄が減少した場合も I S 曲線は右シフトします。

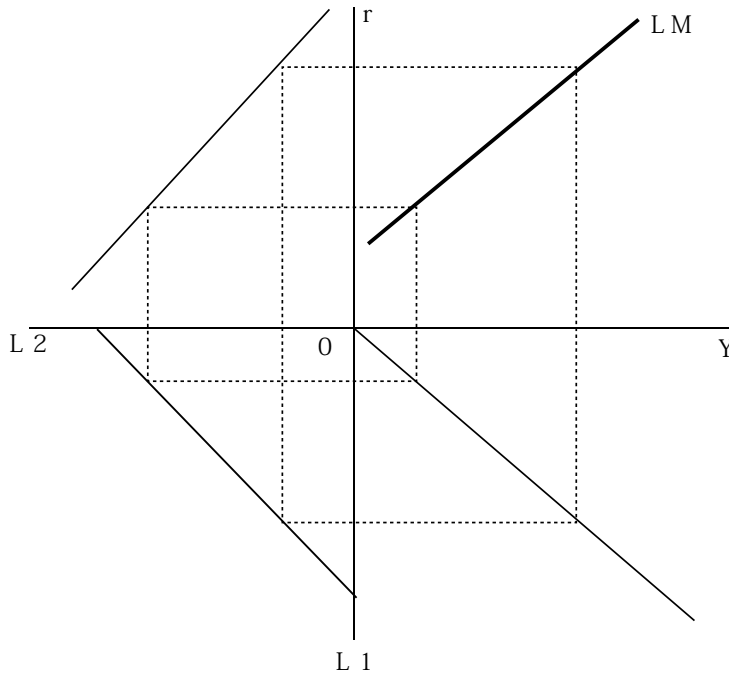
(原因) 社会的保障が  
充実、将来を楽観視



## 考え方のプロセス LM曲線の右シフトの考え方

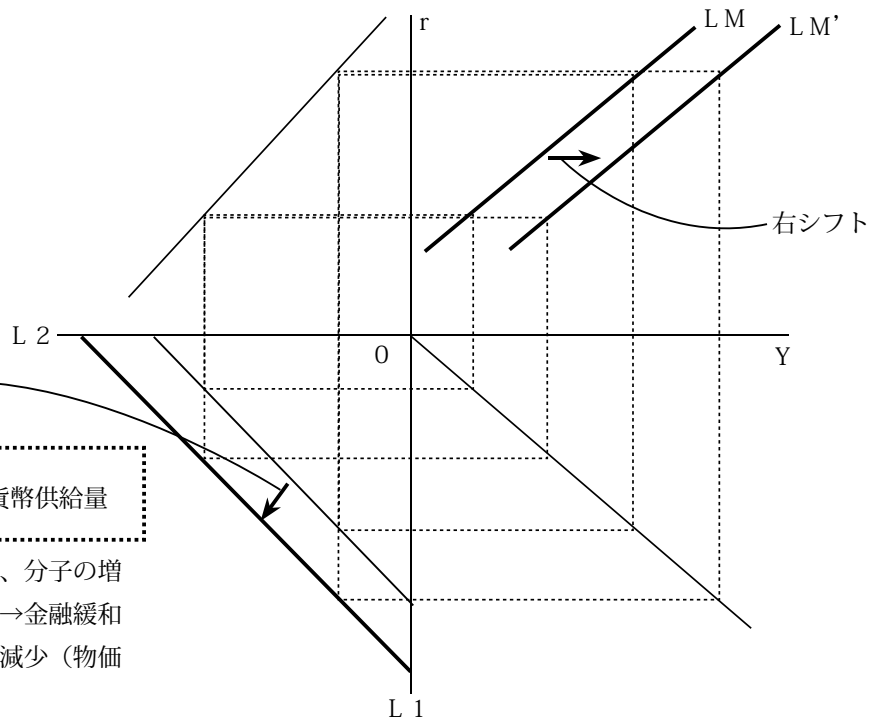
貨幣市場の均衡を表すLM曲線は、第2象限（投機的動機に基づく貨幣需要）、第4象限（取引的動機に基づく貨幣需要）または第3象限（実質貨幣供給）が変化をするとシフトします。

プロセスー1 簡便4象限法でLM曲線を導出します。



www.oshie.com

プロセスー2 実質貨幣供給量が増加をするとLM曲線は右シフトします。



$$\frac{\text{名目貨幣供給量}}{\text{物価}} = \text{実質貨幣供給量}$$

実質貨幣供給量の増加は、分子の増加（名目貨幣供給量の増加→金融緩和政策の実施）または分母の減少（物価の下落）が原因です。

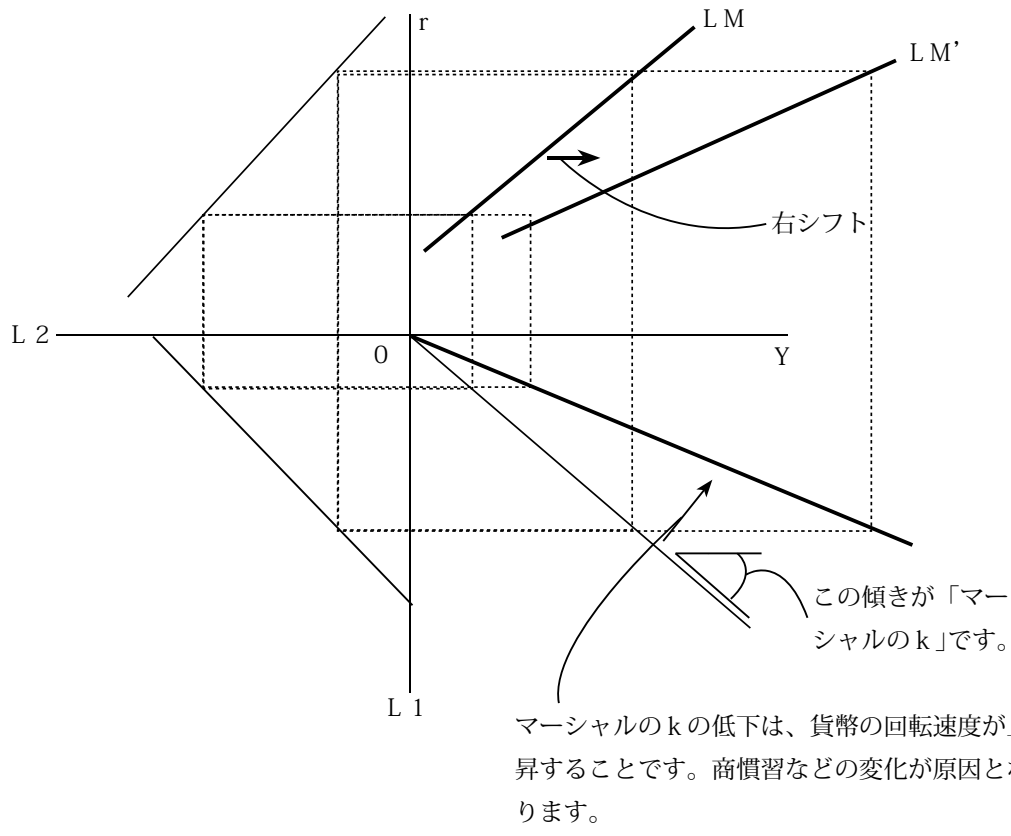


www.oshie.com

プロセス-3

プロセス-4

L 1（取引的動機に基づく貨幣需要）はマーシャルのkが変化が原因で変化します。



L 2（投機的動機に基づく貨幣需要）は債券需要の変化が原因でシフトします。

